



発行者 山中 麗子  
発行所 関東あまたか会  
事務局E-Mail jimukyoku@kantou-amatakakai.com

### 会長就任の挨拶

関東あまたか会会長

山中 麗子 (高21回生)



今年から、関東あまたか会第10代会長を拝命させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

簡単に自己紹介をさせていただきます。昭和26年3月1日、荅北町富岡で生まれ、父の転勤で、5歳から高校卒業(昭和44年3月卒の21回生)まで本渡で過ごしました。高校卒業後、獨協大学外国語学部に進み、卒業後は東京消防庁の女性採用が始まったばかりの第2期婦人消防官として、37年6カ月勤務しました。

一番勤務の長い消防学校教官を7年勤めたおかげで、教え子は多数で、今でもそれが大きな宝です。

松尾前会長は、アイディアマンで、新しいことにも直ぐにチャレンジされ、さらにパワフルに素晴らしい成果を上げてくれました。その松尾前会長の後任ということで、大変な重責を担ったと感じております。

松尾前会長との最初の出会いは、お互いに現職の阪神淡路大震災でし

た。しかし、天高卒と知ったのは、平成24年度の図南会大同窓会の時、不思議な縁を感じ、それを機にあまたか会に入会し、平成25年秋から事務局長として務めさせていただきました。大変光栄でした。高校卒業後、全く母校の動向すら分からなかった私が、こんなに深く関わるようになったのも関東あまたか会のおかげでした。

関東あまたか会は、情報化時代とともに大きく様変わりし、役員や会員の大きな協力のもと、ホームページは充実し、役員や天草の方々ともリアルタイムでの情報共有ができる時代となりました。

松尾前会長の築き上げられた基盤を継続し、会員相互の親睦を深め、さらに大きく成長していく所存です。松尾前会長と同等になるまでは、大変時間がかかると思いますが、どうぞ引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

### サステイナブル(持続可能)

天草高等学校校長

平田 浩一 (高31回生)



関東あまたか会の皆様におかれましては、ご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に對しましてご理解・ご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、最近の後輩達の活躍を紹介させていただきますと、科学部海水準班が国立研究開発法人科学技術振興機構主催のSDGのアワードにおいて、次世代賞を受賞しました。自治体、企業、大学、高校が幅広く応募する大会で、高校としては全国唯一の受賞でした。

テーマである海水準の変動については、3年生が学術的な研究を行い、それを引き継いだ2年生が研究を更に進め、地域社会や他校との連携、情報発信に努めていきましたが、今回の受賞はこの取り組みが認められたものです。地球規模でのテーマであり、世界全体の課題である環境問題に関心をもち、「サステイナブル」、つまり持続可能な社会づくりに積極的に取り組む生徒を誇りに思います。学校全体としても「サステイナブル」に取り組みでいきいたいと考えています。

また、部活動においては秋の県新人戦において、陸上部が女子砲丸投優勝をはじめ、4種目で九州大会出場、男子ソフトボール部が3位、女子ハンドボール部がベスト4に勝ち上がっています。文化部では、吹奏楽部がアンサンブルコンテスト県予選金賞受賞など、こちらも活発に活動しています。

10月に開催された文化祭では、展示、ステージ、バザーと、感性と表現力あふれる発表が行われました。進路実現を目指す3年生を励ます企画もあり、大変盛り上がりました。定時制においては、10月に定時制・通信制文化大会が開催され、本校からは生徒全員で作成した天草エアラインのモザイクアートの展示、ステージ発表では生徒代表による生活体験発表、2年生によるギター弾き語り演奏を行いました。

このように、学校行事や部活動を通して、雛鵬達が翼を鍛え、日々成長しているところです。この春には、卒業生が関東の地にお世話になりました。これまで同様に声をかけていただければと存じます。

終わりに、関東あまたか会のみならずの発展を祈念申し上げます。



**天草市ふるさと応援寄附金**

ふるさとへの想いを大切にしながら、全国でご活躍されている皆さま。是非、「ふるさと納税」という応援スタイルで、「ふるさと天草」を元気にするための、まちづくり・人づくりを応援してください。なお、ご寄附のお礼として市の特産品などをお送りしております。

天草市総合政策部財政課ふるさと納税担当  
〒863-8631 熊本県天草市東浜町 8-1  
お申込み 電話:0969-27-5053 FAX:0969-24-3501  
お問合せ先 メール:furusato@city.amakusa.lg.jp

熊本市天草市ふるさとチョイス  
宿泊券はじめました。帰省や旅行にご利用ください！  
定期便はじめました。  
https://www.furusato-tax.jp/city/product/43215



# 天草高校での日々

## 寺岡 航

### (天草高校3年)



春から中央大学の経済学部に進学。高校生活では、勉強はもちろんです。特に部活動に青春の全てを捧げました。私はソフトボール部に所属し、全国大会出場を目指して日々練習に励んでいました。当初は周囲に比べて身体が小さく、人一倍努力が必要だったため、技術的な練習に加えて、ランニングや筋力トレーニングなどにも積極的に取り組みました。なかなか成果が出ずに苦しい時期もありましたが、地道に努力を続けました。その結果、九州大会出場を果たし、そこで他校の素晴らしい選手とともにプレーをすることで、他の選手の技術や戦術を肌で感じ、自分の視野を広げることができました。全国大会出場という目標は叶いませんでしたが、ソフトボールを通して、体力や忍耐力、継続して努力する力を身に付けました。また、プレー以外の面でも、挨拶や礼儀など様々なことを学びました。私には、公認会計士になるという目標があり、合格発表後は、センター試験対策に加えて、政治経済の勉強や独学で簿記の勉強に励んでいます。

大学入学後は、さらに難しい内容になると思いますが、高校生活で培った力を活かして粘り強く努力を続けていきたいと思っています。

今年の傾向として、推薦入試を受ける受験生が多く、例年よりも多くの生徒がセンター試験を前に合格を勝ち取っています。しかし、センター試験本番に向けて勉強に励んでいる受験生もたくさんいるため、私を含め合格した生徒の協力も必要不可欠になります。一人でも多くの受験生が志望校に合格できるように、天草高校三年生全員が一丸となって頑張っていきたいと思っています。



# 大学での日々

## 笠田 敏仁

### (東京農業大学1年)



私が、天草高校を卒業し一年、光陰矢の如しと言えど、時の経つ早さに驚いています。忙しなさと不安の渦中始まった大学生活は、家族はもちろん様々な方々の支援を頂きながら、充実したものとなっています。

さて、私は現在、東京都内で一人暮らしをしています。初めて親元を

離れ、「ひとり」で生活していくことは半半可にできることではないなと実感しています。改めて家族をはじめ、周囲からの支えに感謝せねばと痛く感じています。

大学では、研究室、プロジェクト、学祭運営団体などに所属し、日々学ぶことが増えていく、というような生活を送っています。特に、最近研究室活動に力を入れており、主に「食品に関する消費者行動とマーケティングについて」の研究を先輩や先輩方と切磋琢磨しながら進めています。まだまだ至らぬ点も多くあり、ついていくのが精一杯な状況です。しかし、よい刺激を受け、今後天草に少しでも貢献できるよう精進していきます。

# またも入賞

## 天高科学部

### 馬場(旧姓那須) 信子(高2)

またまた天高科学部2年生がやってくれました！

「STI for SDGs アワード 次世代賞」を11月15日に受賞したのです。

この賞は科学技術振興機構が文科省の後援を受けて、持続可能な社会的に意義のある自然科学分野の研究に賞を出すものです。したがって受賞したのは専ら大人の研究者ですが、我が天高科学部が唯一高校生で受賞したのです。受賞理由は既に「Science・Edge2019」

で受賞した温暖化による海洋環境の変化の研究ですが、自治体や地域住民も巻き込んだ研究が評価され、かつ未来を担う次世代の若者による研究である事が注目されたものです。

この受賞は指導者の宮崎先生のクリーンヒットと言えます。地道な努力を続けている生徒達に何か励みになるイベントがないかと、パソコン画面を隅から隅まで探っていたら「STI for SDGs 賞」を発見したのでぞうです。生徒を応援してやりたい、と言う熱意にパソコンが応えてくれたのかも知れませんね。

表彰式後も更にテレコムセンターの5階ブースにて2日間、ポスターを使用したプレゼンを行い、最終日には、1階アゴラスステージにてピッチトークが行われ、7団体のトップを切って、天高生2名が発表しました。受賞時の挨拶も、プレゼンも、ピッチトークも、大人たちよりも堂々として、立派なものでした。

「ビバ天高！」



STI for SDGsアワード授賞式 於：日本未来科学館

**めぐみ保育園**  
T 0963-00300  
天草市南町6-9  
電話 0969-23-7334

**天草の乳幼児を  
考える会**  
住所はめぐみ保育園と同じ  
電話 0969-66-9772  
FAX 0969-66-9773

天草で働いてみませんか！  
**保育士募集**

天草へお帰りの際、お子様、お孫様の一時お預かり保育のご相談はご遠慮なくお電話下さい。

主任保育士 石揚 揚弓

5万㎡の広大なリゾート  
F863-0001  
熊本県天草市本渡町広瀬996  
TEL (0969) 22-3161  
http://www.hotel-alegria.jp



SSH 担当教諭 宮崎 一

Global Link Singapore2019(以下GLS)は、7月26日から28日の3日間行われました。

オールプレゼンテーション部門では、日本から社会科学分野に1校、自然科学分野に本校を含めて4校が発表しました。

本番では、古田さんが持ち前の高い表現力を生かし、地球温暖化による海面上昇について、聴衆に訴える問題提起を行いました。山下君は科学部の研究成果を淡々とした口調でありながらわかりやすく伝えました。

質疑応答では、予想外の質問ながら2人で協力しながら答える様子が、本校のチームワークの良さを表していました。育成枠で参加した2年生3名と1年生1名は、海外に自分達の研究手法を広めて仲間を増やすために、不慣れな英語ながらも積極的に発表していました。

残念ながら受賞には至りませんでした。が、これは、ひとえに顧問である私の責任であり、生徒達は精一杯、持てる力以上の発表を行ってくれました。

私を含めて多くの学びを得たGLSでしたが、最大の成果は、先輩達の姿に感銘を受けた2年生が「次は私達が世界を目指す」と言ってくれたことです。

現在の大学1年生の代から始めた研究ですが、着実に次の代へとバトンが渡されていることがわかり、感動いたしました。次は、2年生達と3年生が残してくれた

ものを生かし、頑張っていきます。GLSへの参加に際しましては、多くの方々からのご支援をいただきました。このご支援により、次の代に繋がり、生徒共々大変感謝しております。誠にありがとうございました。

科学部長 3年 山下 鮎人

3月の下旬、僕は、くはScience Edge2019で受賞し、世界大会出場という目標を達成し、新たな舞台へ挑戦することになりました。僕は海外に行くことに少し抵抗があり、更に初めての英語での発表ということもあり、受賞の嬉しさと同時に不安がこみ上げてきました。

シンガポールに行くことが決まった後は、部活動はさらにハードになり土日ほとんど活動していません。研究中にはデータのミスなども多々あり、古田さんと二人でどうにかこうにかデータを集め、考察し、研究(発表内容)を完成させました。

しかし、これだけではなく研究が終わった自分たちで英語の原稿を作り、英語科の先生に添削してもらい、ひたすら練習をしました。初めは、添削してもらった原稿を見て、こんなに長い文章を本当に言えるようになるのかという不安がありました。

練習開始当初は、いろいろな人達から指導を受けて、心が折れそうになったこともたくさんありました。でもやるしかないという腹をくくって、がむしやりに練習し

Global Link Singapore2019特集

ました。家でも、学校の休み時間にもずっと練習していました。

そして、東京工業大学(宮崎注釈 GLS参加者への東工大でのプレゼン体験会)で初めて大勢の人の前で発表しました。発表直前はものすごく緊張しました。でも、その日の最後に東工大の先生方に今日の中では一番良かったと言ってもらい、とても嬉しく、更にやる気が出てきました。

そのままの調子で行けば良かったのですが、本番の数日前に発表スライドにミスが見つかり、自分のパートの原稿が変わってしまいました。出発の直前までは変更した部分もある程度は言えていたのですが、本番直前のリハーサルでは、緊張と前日からの長時間の移動で練習できなかったこともあり、自分でも驚くほど言えなくなっていました。そして先生からは今日のリハーサルは百点満点中2点だと言われて本当に悔しかった

です。古田さんはしっかり言えていて、自分のせいで厳しい指導を受けてしまい、本当に申し訳ない気持ちでした。その日の夜は、ひたすら練習しました。

本番当日、多少の緊張はありましたが今まで練習してきたことを信じ、発表しました。悔いが全くない訳ではないですが、自分の力をしっかり出し、リハーサルときよりも断然良い発表ができたので、満足しています。残念ながら賞をもらうことはできません

んでしたが、多くのことを学ぶことができました。この経験を自分達の今後に生かして、後輩達には自分達が果たすことができなかった世界大会での受賞を目指して頑張ってもらいと思います。

科学部 3年 古田 詩乃

私は、7月26日から28日にかけて行われたGLSにオールプレゼンテーションで参加しました。

1日目はリハーサルがありました。実際のステージに立つてみると、いつも練習している教室とは規模も、雰囲気も違い、思うように言葉が出ず、リハーサルの出来はいいとは言えませんでした。リハーサル後、「明日の本番はこれではダメだ」と思い、山下君と二人で反省点をあげ、それぞれの発表部分を必死に練習しました。その後、夕食後に「ハイヤ踊り」をステージで踊りました。始めは緊張しましたが、参加者の方全員に手拍子をしてもらい、踊っている私達を見て、ニコニコしながら楽しそうにしている参加者の方々の様子を見て、踊りながら自然と笑顔になりました。夜のホテルでも山下君と明日の本番に向け、何度も動きの確認をし、練習しました。

2日目はオールプレゼンテーションがありました。海外の参加校、日本からの参加校の英語の発表を聞きました。特に他校の質疑応答には世界レベルのハードルの高さを感じました。本番前の最終確認を会場の外で行い、本番に臨みました。いざ本番になるととても緊張し、「本番中

に話す内容が飛んでしまったらどうしよう」と不安になりました。本番では「いつもどおりに」を意識して、自然なプレゼンテーションを心掛けました。一番不安であった質疑応答は、事前に英語の先生に協力していただき、練習した甲斐もあって、時間はかかりましたが答えることができました。海外参加校の発表を見て感じたことは、「海外の人達も私達と同じなんだ」ということです。抜群にプレゼンがうまかったり、英語が流暢な訳でないとかわり、「海外」という世界を以前より近くに感じました。残念ながら受賞することはできず、とても悔しく思うと同時に、世界のレベルに対して「自分はまだまだだな」と強く感じました。

3日目は基調講演がありました。海外で働く海外の方のグローバルな課題についての講演を英語で聞きました。プレゼンテーションやスライドの作り方など、勉強になる点がたくさんあり、グローバルな課題に対する関心が深まり、内容もとても興味深く、面白かったです。実際に海外で働いている方のお話を聞いたことで、将来「自分も将来海外で働きたい」という思いが一層強くなりました。今回、私達がGLSに参加することができたのは、寄附金をくださった方々、いつも応援してくださっている同窓会の方々、地域の方々のおかげです。日本では経験できないような貴重な経験をたくさんすることができました。温かいご支援と応援、本当にありがとうございます。



# 総会・友好の集いを終えて

大島（旧姓松本）ひろみ（高21）

令和元年関東あまたか会総会・友好の集いを10月27日（日）四谷の「スクワール麹町」で開催しました。気温差の厳しい週間の中、当日は丁度良い気温で出席者の出足も良くスタートしました。105名の出席者のうち、今回初めて参加された方が6名、学生も9名参加しました。

総会は、山中麗子事務局長（高21）の司会で始まり、物故者の12名に黙とうを捧げた後、星野（旧姓荒木）悦子副会長（高18）の開会の言葉、松尾和幸会長（高16）の挨拶、次期会長の選出となり、第10代会長に山中麗子事務局長が推薦され、会員一致で次期会長が決定しました。

松尾会長は、4期8年の会長を務めていただき、感謝するとともに、今後のご指導を願ひ、花束贈呈を行いました。

来賓祝辞を岩寄毅教頭先生から



花束贈呈  
8年間お疲れ様でした



来賓祝辞  
岩寄毅教頭先生



来賓紹介  
左から園田理事長、安田会長  
廣田・福田・山中会長

ただき、来賓挨拶を安田公寛同窓会長、山中良三郎同窓会会長、福田和幸中京支部会長、廣田忠廣東巴水会会長及び園田峯生東京天草育英会理事長からいただきました。続いて、会務・会計報告。会計は、天草高校の科学部の世界大会出場にあたり、20万円を寄附しましたが、9月末時点ではかろうじて黒字でした。続いて役員紹介と記念撮影。打ち合わせ通り、手際良く並び、星野



関東あまたか会総会・友好の集い  
令和元年10月27日（日）  
（於：スクワール麹町）

**クラブ赤石**  
赤石 洋子（本渡出身）

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-7  
第3ソエアレ・ド銀座ビル5階  
TEL：03-3573-3994  
携帯：090-5325-9377  
E-Mail: y\_akaishi@f2.dion.ne.jp

（銀座8丁目中央通り 博品館並び5軒先）

**子どもは地球の宝！ 守り育てよう！**

赤ちゃんから大人まで安心してご利用頂けます

液体歯みがき 歯みがき剤  
[プレミアムナチュラル プレミアムジェル]

株式会社 やくそうの島 天草社  
熊本県天草市浄南町59-3 TEL.(0969)24-3697

ご宴会・ご会食を受け賜われます。

古民家カフェ&スローフード  
**茶寮 やまの家**

代表取締役 山下 國人（高18回卒）  
〒863-0022 天草市栄町5-18  
TEL0969-23-5431 FAX0969-23-3130  
http://www.amaxa.co.jp



副会長が天草弁で皆様を最高の笑顔にしてくれました。

次は「友好の集い」へ。平田俊清(高10)第8代会長による乾杯。長寿祝の紹介。卒寿は、天中卒の土黒定信様。傘寿は、11回卒の清原桂典様、大塚徳満様、村上美保子様の3名。喜寿は、14回卒の橋本順子様、一之瀬紘子様、原田幸徳様、小崎誠士様、森田秀徳様、大野正光様、北内寿夫様、出崎恵子様、8名。古希は、21回卒の森田聖憲様、佐々木容子様、歳田博文様、馬場信子、山中麗子、大島ひろみの6名。還暦は、30回卒の永井良二様に、会長から紅白饅頭の記念品贈呈。あとから感想を聞くとても美味しかったと評判でした。



長寿祝  
記念品贈呈

ここから司会は、吉村(旧姓木密)いつみ(高25)が担当。初めての参加者として、13回生の宮崎英一様、高30回卒の永井良二様、また、高42回生学年幹事の小浦大吉の紹介で、



在学生の自己紹介  
(高70、高71)



サクソとフルートの  
コラボ演奏

高48回卒の山下太郎様、横山龍太様、河野瑞穂様、杉本環様の4名が参加。在学生7名が自己紹介すると、会場が一気に若返りしました。次の「音楽の調べ」の最初は、初めて参加の木村信哉様(イケメンの独身)のサクソ演奏、続いて江頭(旧姓柿久)真喜子(高28学年幹事)によるフルート演奏。そして、二人のコラボと共に素晴らしいくうつどり聞き入りました。木村信哉様は役員の木村(旧姓平田)さよ子(高24学年幹事)のご子息です。演奏を引き受



総踊り  
牛深ハイヤ節

けていただき、感謝、感謝です。そして、ゴスペルグループ13名の登場。銀色の帽子と黒い衣装で、パワフルな歌声と踊りには圧倒されながら、元気をいただきました。「集い」も最高に盛り上がり、参加者全員による牛深ハイヤ総踊り。星野副会長の天草弁による「空見て海見て」の掛け声で、若いも若きも楽しい笑い声で踊り切りました。その後、「ふるさと」合唱、校歌斉唱では、在学生には壇上上がったてもらい、若い歌声で盛り上がり、明瀬副会長の3本締めで「集い」も無事終了。ご来賓の方々の役員一同でお見送りし、次回の再会を約束してお開きとなりました。今回も恒例の天草の物産展を実施。明瀬副会長作成の「天草からお取り寄せ」の素敵な看板もあり、順調に完売となりました。ありがとうございました。今年の総会・友好の集いは、下記のとおり10月25日(日)です。



天草物産品販売  
おかげさまで完売しました

**令和2年度 総会・友好の集いのご案内**

関東あまたか会は、あんたん会ばい！ あんたが来つとば、待つとつとばい！ お出でなっせ！ 天草弁で喋るうやっか！

一、日時 令和2年10月25日(日) 12:00～15:00

二、場所 「スクワール麹町」 千代田区麹町6-6 ☎ 03-3234-8739

三、会費 男性6千円、女性5千円、ご夫妻1万円、30歳未満3千円、学生無料

四、アクセス JR麹町駅の目の前

Anakusa Santa Coming Hotel Bridal Plan  
**サンタスティックウェディング**  
ゲストのお客様と一緒に楽しみ、おしてなして第一考えた結婚式です。見栄と相談ください。  
http://red-happiness.com  
アマクサ サンタ カミング ホテル  
〒963-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3  
TEL 0965-22-0100 FAX 0965-24-3472

警備に関することはなんでも相談せんね!  
**(株)機動警備**  
代表取締役社長 山下 純二 (天高19回生 姫戸出身)  
電話: 048-728-5530 FAX: 048-728-8085

スマイル引越しセンター  
東京センター ☎ 0120-578825  
イーナパニコ  
**(運) 東京運輸株式会社**  
代表取締役 桁山 輝雄 (天草町福連木出身)  
本社/ 東京都板橋区桜川2丁目15番18号  
TEL: 03 (3931) 7004-6  
営業所/ 東京都板橋区桜川2丁目13番11号  
TEL: 03 (3934) 2371 FAX: 03 (3934) 2373  
茨城営業所/ 茨城県古川市磯部11-1  
TEL: 0280 (93) 0004 TEL: 0280 (77) 1213



# 関東あまたか会と私の6年間

泉 佳那 (創価大学4年)



とある東京の大学受験を目前に控えていた高3の2月。それが私と関東あまたか会の皆さんとの初めての出会いでした。初めて一人で来た東京で、簡単な電車の乗り継ぎもエスカレーターで、右左に分けて乗る意味も分からず戸惑っていた私を優しく歓迎して下さいました。羽田空港で降り立った時にお会いした青い天草のハッピを着た関東あまたか会の方のお姿は今でも忘れません。

無事に試験を終え、第一次志望の東京の大学への進学が決まった私は初めて天草の土地、家族を離れました。天草にいた頃の高校生の私は、正直天草を出たくて出たくてたまりませんでした。自分にはもっと相応しい場所がある、自分はずっと遠いところに行ける、と恥ずかしながらもずっと思い込んでいました。小さな天草という街から解放されて上京した私を待っていたのは他でもなく挫折でした。周りのレベルについて行けず、自分が一体何の為にこの大学にいるのか分からなくなる始末。当時の大学は受験時の第一志望ではありませんでしたが、東京にどうし

ても行きたかった私は、学びたかった専門を変え合格率の高かった大学を選んでしまいました。「やりたくないことをやって失敗して惨めに感じるくらいなら、やりたいことをやって失敗した方が死ぬ時にきつと後悔しない」と考えた私は退学を決心しました。決意と言っても、最初から前向きだった訳ではなく、1年間以上、私は劣等感と天草にいる家族への罪悪感で一杯でした。退学に至っては、関東あまたか会の方にも親身になって相談に乗っていただきました。あの時にいただいた助言や励ましは、今でも私を奮い立たせる励みになっています。

退学を経て私は新たな大学に入学し、自分の好きと思える分野を今日まで勉強してきました。幸運なこと海外留学も経験し、素敵な人達に出会えました。結局高校卒業後の人生は、高校生の自分が思い描いた順風満帆な人生とは正反対でしたが、私は自分自身の選択に後悔はありません。私の身勝手なわがままのせいで苦労を強いてしまった両親には迷惑をかけてしまいました。この挫折と再出発によって、私はサポートしてくれる家族の存在の有り難みを強く実感しました。両親、あの時一人で色々な感情を抱え込んでいた私を励ましてくださった関東あまたか会の方々には、言葉では表せないほどの感謝の気持ちで一杯です。総会や

その他、関東あまたか会の行事で話しかけていただいた皆様との交流も、東京で一人暮らしをする私にとって天草の人の温かさを感じる素敵な時間でした。

初めて上京した年から6年。私は今年3月に現在在籍する創価大学を卒業します。これまで支えて下さった関東あまたか会の皆様への感謝と、これから未来に羽ばたいていく天草生へのメッセージとして、最後に私の好きな格言を送ります。  
**Treasure your relationships, not your possessions.**  
Anthony J. D. Angelo

(物質的な所有物を財産にするのではなく、人とのつながりを自身の財産にしなさい、という意味です)

**東京天草育英会**  
便り  
理事長 園田 峯生

一般財団法人東京天草育英会は、天草から関東地区に進学する大学生に返済義務のない奨学金を給付して、次の時代を荷う若者を応援する育英財団です。奨学生に給付する奨学金は主として天草出身の皆様からの毎年の寄附により運営されています。改めてお礼申し上げます。  
育英会では、奨学金の給付のみならず、年に少なくとも1度は奨学生と天草出身の皆様との意見交換会、

懇談会を開催して、奨学生の現況を報告してもらうと共に、参加者の皆様の経験談などを話していただき、奨学生の未来の糧になるよう心掛けています。

今年度も昨年12月7日(土)に意見交換会、懇談会を掲載の写真のとおり開催致しました。

関東あまたか会会員各位の協力を得ながら、若人を応援して参ります。今後ともご支援・お力添えをいただきたく、お願い申し上げます。



奨学生との懇親会 (2019.12.7)

- 関東あまたか会払込口座のご案内**
- 1 ゆうちょ銀行から払込む場合  
・口座記号番号：00180-6-487424  
・口座名義：関東あまたか会
  - 2 他の銀行等から払込む場合  
・銀行名：ゆうちょ銀行  
・口座名義：関東あまたか会  
・店名(店番)：0一九(ゼロイチキウ)店(019)  
・預金種目：当座  
・口座番号：0487424

昨春大学へ入学した奨学生2名を含め、現在7名の奨学生が勉学に励んでいます  
今春も奨学生の中から郷里天草へ帰って活躍する社会人が誕生しそうです  
**皆様からの心のこもったご寄附金が大きな手助けとなっています**  
**ありがとうございます**

1,000円から  
何口でも結構です

郵便局に備え付けの払込取扱票に、当東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生

☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

〒102-0093 千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号



ご理解・ご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます

2019年度年会費を納入された会員の皆様(12月31日現在)

Table listing members who paid the 2019 annual fee, including names, addresses, and phone numbers.

2019年度年会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

Table listing members who also made donations in addition to their 2019 annual fee.

2019年度に2018年度年会費を納入された会員の皆様

Table listing members who paid the 2018 annual fee in 2019.

2019年度に2020年度年会費を納入された会員の皆様

Table listing members who paid the 2020 annual fee in 2019.

令和元年度会計報告

平成31年1月1日～令和元年12月31日

Accounting report for the fiscal year 2019, showing income and expenses.

令和2年度予算報告

令和2年1月1日～令和2年12月31日

Budget report for the fiscal year 2020, showing projected income and expenses.



**17回生 便り**  
**令和最初の忘年会**

令和元年12月21日(土)、会場の店に同期生8名(日下部、口元、林田、松下、松野、村岡、山口、明瀬)集合。やはり55年頃前の天高時代の話が始まり、松村校長の教え「逆境の時には己を励まし、順境の時には益々自分を戒めなければなりません」の人生訓から、当時の恩師の先生方、「神様・山並様」、「熊さん」、「虎さん」、「〇〇ちゃん」、「△△ちゃん」等、尊敬と親しみを込めた呼び方で指導を受け、勉学に明け暮れた(?)高校時代の思い出話に花が咲きました。



**18回生 便り**  
**大嘗宮の一般参観**

令和初の同期会を、12月7日に行いました。女性6人、男性8人、合計14人が参加。恒例のウォーキングは、いつもとは異なり、二手に分れてスタートしました。先発は、皇居の大嘗宮一般参観班で、11時東京駅集合、まず見学。皇居に向かい、手荷物検査とボディチェックを受けて、皇居・東御苑にある大嘗宮の参観に臨みました。連日、大盛況で押すな押すなの混み具合が、一転、雨模様との天気予報が影響してか、参観者の足が遠のき混雑もなく、スムーズに参観しました。日頃の行いの賜でしょうか! 大嘗宮見学組は、その後、バイキング、シニア価格1500円の美味しい料理を堪能して、懇親会がある石神井公園駅へ向かいました。

後発班は、14時半に石神井公園駅に集合し、住宅地を通り抜け、三宝寺池に到着。板張りの通路が整備されており、湖面や湖畔には、多くの野鳥が群れており、水生植物や紅葉を楽しみながら、石神井城址や、ふるさと文化館、明治20年頃の重厚な趣の古民家を見学。古民家は移築されており、移築に一億円を要したそうです。施設の担当者の説明を受けて、練馬区の歴史や過去の暮らしの様子、発掘された

**25回生 便り**  
**貴方は何派で、大盛り上がり**

古代土器や、手塚治虫氏らが残したアニメ撮影機や、アニメに関する展示物等を鑑賞しました。なお、3組のモデルの撮影会と遭いました。17時に、両班は合流して、お楽しみ懇親会が始まりました。天草弁の語り、賑やかに勢いよく弾みます。料理に舌鼓をうち、アルコールを胃袋に流し込み、酔いが進むと、語りは一段と炸裂します。懇親会が半ばになると、全員の近況報告が始まります。初めての話に聞き入り、相槌を打ったり、忘れていた記憶が蘇ったりして、二時間半の懇親会は、あつと言つ間に終了です。次回は、東京五輪の会場等を見物しながら、同期会を開催してはとの話が飛び出したところで、翌年の再会を呼び掛けてお開きとなりました。これ位では話し足らず、喫茶店に場所を変え語りは続いた。(塩田 正照)



18回生同期会 (石神井公園にて)

令和最初の年の暮れとなる12月17日、野口明君の呼びかけで12人が新

**25回生 便り**  
**貴方は何派で、大盛り上がり**

この日パリから帰国したフランス芸術家協会会員として活躍している画家若山茂君も、羽田空港から大きな荷物を持って駆けつけてくれました。宴席に入るなり、堰を切ったように天草弁が飛び交い、懐かしい話が引きも切らずに繰り出されて、笑いが絶えないひとときとなりました。

話題の一つが蜂巣饅頭。「私は黒あんが好きだった」、「俺は白あんだ」、「いや黒だ」、「白だ」等々、「黒あん派」と「白あん派」のバトルが展開されました。

結局、天草に帰ったら饅頭を買って来て、皆で舌鼓を打つ会を開催することで、バトルはノーサイド。蜂巣饅頭とかき氷の組み合わせは格別でしたね。最後に、健康に気をつけ、若山君の個展が新宿伊勢丹デパート開催される令和2年2月5日から11日の間に再会することを約束して閉会しました。(学年幹事 古閑 学)



25回生忘年会 (新宿にて)

**訃報のお知らせ**

この1年間にお亡くなりになられた方をお知らせ致します。

高女	蓮田	秀子	子力	様	(2019年02月)
高女	長嶋	子景	由枝	様	(2019年04月)
高女	山上	久武	久子	様	(2019年05月)
高女	高下	南富	美生	様	(2019年08月)
高女	高北	井上	美生	様	(2019年04月)
高女	高北	井上	美生	様	(2019年08月)

謹んで哀悼の意を表します。

**編集後記**

会報第25号から今回の38号まで14号に事務局として携わり、様々な経験を重ねることができました。会報の記事は、天高在校生から、大学生、それぞれの卒回生の活動など、内容の充実にも増して、広告協賛の皆様方にも大きく貢献をしていただいで、現在に至っています。

ホームページは、会員全員の方に見ていただくことはできませんが、この会報であれば、全員の方に見ただけです。たくさんの方の情報を伝えるために文字が小さかったのですが、ページ数を増やして文字を大きくするという工夫をしました。

年に2回の会報ですが、「天草を遠く離れて、楽しみに読ませていただいています」と嬉しいお便りもくださる方もいます。こんな小さな輪から大きな「あまたかの輪」へとつないでいけたらと思います。皆様の温かい声をお待ちしています。